

●松伏町多世代交流学習館について

～交付金及び施設の概要～



地方創生拠点整備交付金の概要

1 制度の趣旨・概要

未来への投資という観点から、地方版総合戦略に位置付けられ、地方公共団体が自主的・主体的に実施する先導的な事業に必要な施設の新設・改修を支援するものです。

2 対象施設

未来への投資に重点を置きつつ、地方創生の深化に向けて効果の発現が高い施設等が対象となります。

- ・ローカルイノベーションに資する公設試験研究機関の改修等
- ・観光地域づくりに効果的な観光施設の改修等や、地域全体ブランディング戦略の確立に資する収益施設等（6次産業化施設等を含む。）の整備
- ・生涯活躍のまちの推進に資する多世代交流の拠点施設（既存施設の改修等を含む。）の整備や、移住定住促進のために行う空き施設の改修等
- ・地域コミュニティ組織の日常的な活動の場として機能する基幹的な拠点施設の整備（廃校舎、旧役場、公民館等の改修を含む。）
- ・公立保育所をはじめとする子育て支援施設
- ・地域観光拠点となる博物館・美術館等及び歴史的建造物を活用した展示施設

地方創生拠点整備交付金の概要

3 補助率及び財政措置

ア 補助率 国：1／2

イ 財政措置

一般補助施設整備等事業債の対象：充当率90%、交付税措置率30%

4 地方創生拠点整備交付金を活用するための要件

地方創生拠点整備交付金を活用するためには、改修する施設を今後どのように活用していくかを明確に記載した施設整備計画を提出するとともに、今後5か年の事業の進め方を記載した地域再生計画の認定を受ける必要があります。

⇒ 平成29年5月に国の認定を受けました。

さらに・・・

平成29年度中に次の事項を処理する必要がありました。

①交付決定を受けた事業の予算措置については、**6月議会で措置**すること。

②まち・ひと・しごと創生総合戦略に事業が位置付けられていること。同戦略に位置付けられていない事業については、平成29年度中に位置付ける必要があること。

⇒ 平成29年度中に対応済み。

松伏町「みんなの良（居）場所」づくり プロジェクトの概要

1 事業概要

現在地区公民館として利用されている旧赤岩地区公民館を改修し、子どもから高齢者まであらゆる世代が居心地が良いと思える空間「良場所」を創出します。

また、町内のやる気のある方々の活躍の場を提供するため、サロン等でのサークルの発表機会の提供や、ボランティア活動の場の提供、人と人をつなげる支援を行うコーディネーターを配置し、良場所に集う方々を結び付け、地域のコミュニティ機能を高めていきます。

2 改修内容

エントランス、事務室、会議室、ユニバーサルデザイントイレ、サロンスペース及び図書・学習スペースの整備等

3 事業総額及び交付決定額

(1) 事業総額

82,560千円（うち交付対象経費80,510千円）

(2) 交付決定額

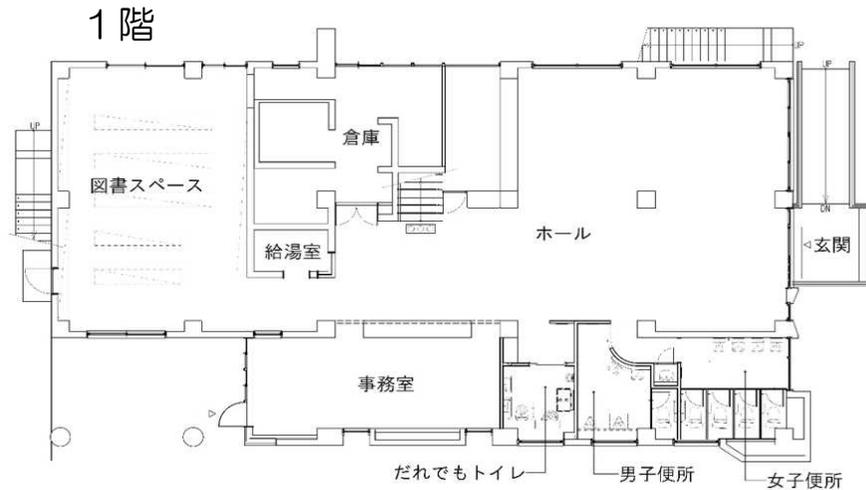
○拠点整備交付金分 39,975千円（79,950千円の1/2）

○推進交付金分 280千円（560千円の1/2）

合 計 40,255千円（80,510千円の1/2）

※ 本事業は、松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略に記載がなかったことから、平成29年度に位置付けました。

松伏町多世代交流学習館について

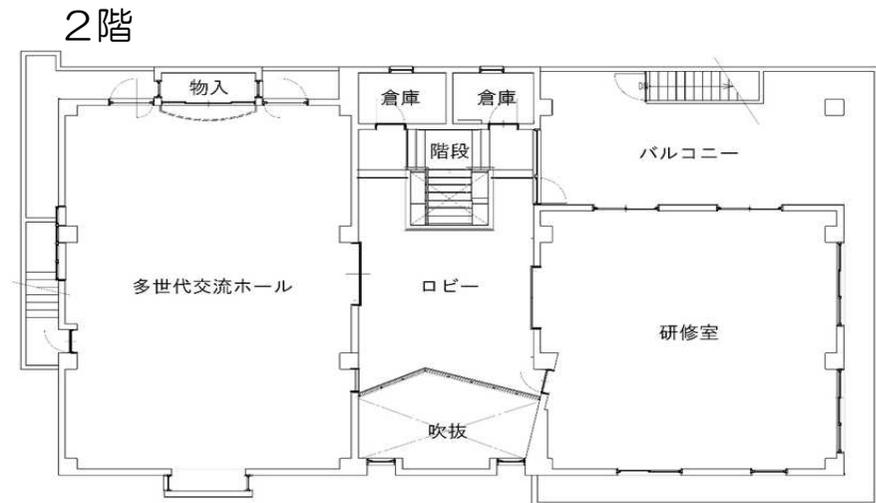


〈概要〉

1. 敷地面積 879.9㎡
2. 構造 鉄筋コンクリート造
3. 延床面積 524.04㎡
4. 階数 地上2階建て
5. 部屋数 5部屋

主な利用について

- サークル活動
- 多世代事業
- 児童生徒の勉強の場



サロン事業について

【メロディカフェ】

毎週水・土曜日 10:30~15:30

【オレンジカフェ（認知症カフェ）】

第3土曜日 13:00~15:30



【参考】各種統計



カフェ利用者数		
平成30年	利用者数	実施日 (平均人数)
4月	—	—
5月	62	3 (20.6)
6月	173	8 (21.6)
7月	139	8 (17.3)
8月	111	5 (22.2)
9月	166	9 (18.4)
合計 (平均人数)	651	33 (19.7)

コーディネーター 相談者数	
平成30年	相談者数
4月	3
5月	3
6月	4
7月	2
8月	9
9月	4
合計	25